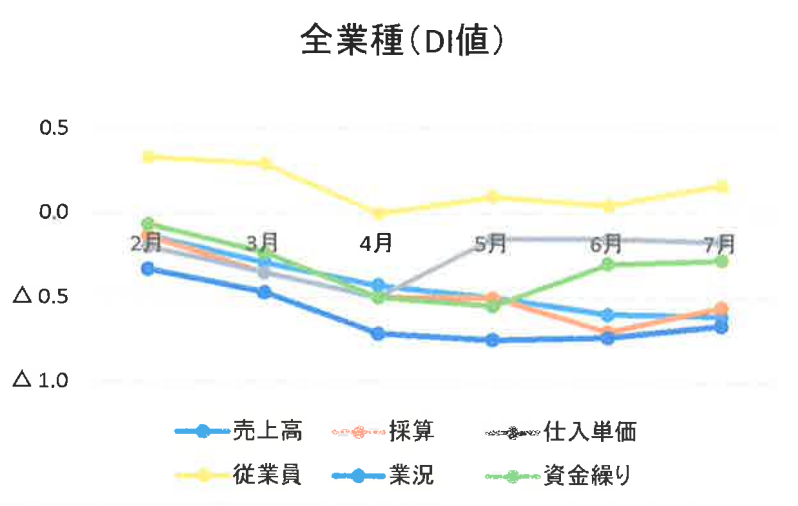


白河商工会議所LOBO調査結果(令和2年7月分)

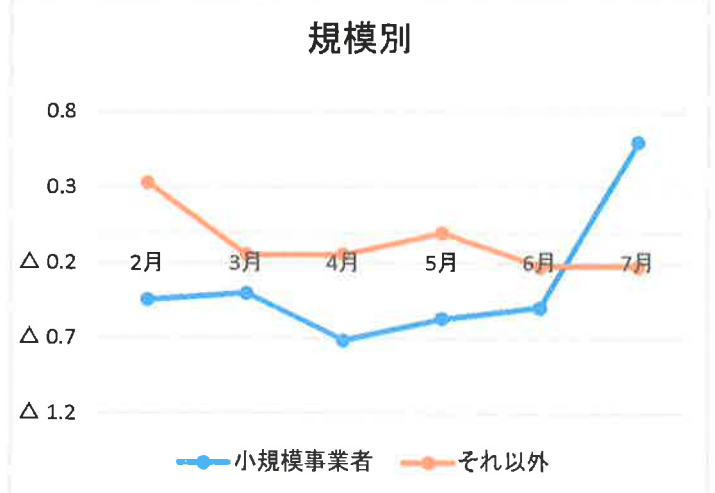
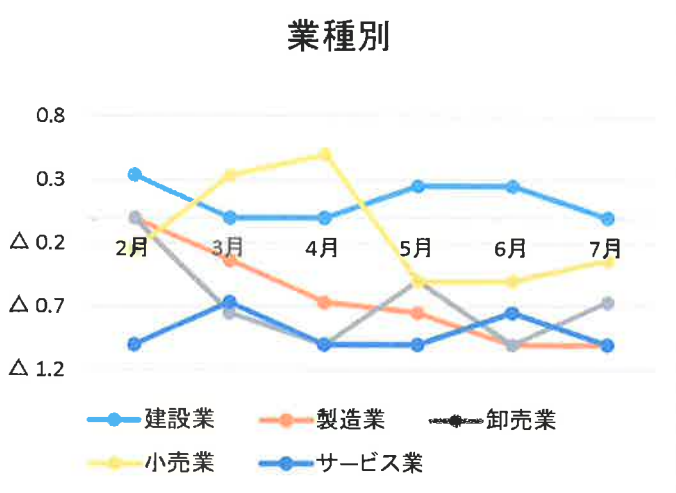
実施期間: 令和2.7.14~7.19 回答事業所: 18事業所

1, 全業種DI値



7月の全業種DI値を見ると、採算が $\Delta 0.6$ 、従業員が0.2でそれぞれ前月比+0.1ポイント上昇している。売上、仕入単価、業況、資金繰りは変化なしという結果であった。

2, 売上高



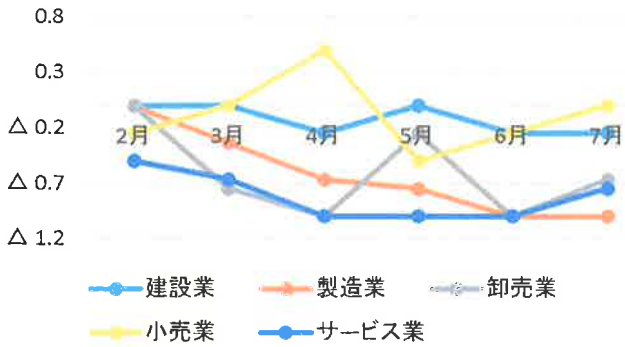
売上DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	$\Delta 0.1$	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.4$	$\Delta 0.5$	$\Delta 0.6$	$\Delta 0.6$
建設	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0
製造	0.0	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.7$	$\Delta 0.8$	$\Delta 1.0$	$\Delta 1.0$
卸売	0.0	$\Delta 0.8$	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.5$	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.7$
小売	$\Delta 0.3$	0.3	0.5	$\Delta 0.5$	$\Delta 0.5$	$\Delta 0.3$
サービス	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.7$	$\Delta 1.0$	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.8$	$\Delta 1.0$
小規模	$\Delta 0.4$	$\Delta 0.4$	$\Delta 0.7$	$\Delta 0.6$	$\Delta 0.5$	0.6
それ以外	0.3	$\Delta 0.1$	$\Delta 0.1$	0.0	$\Delta 0.2$	$\Delta 0.2$

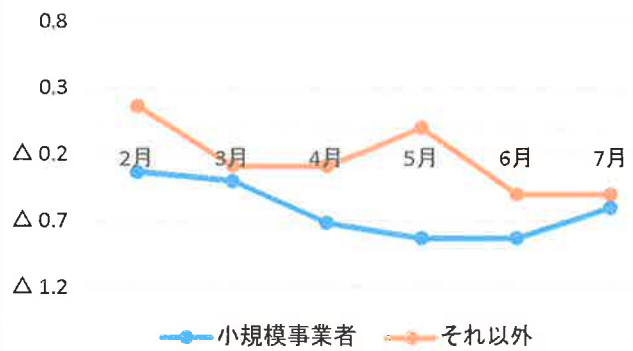
全産業の売上DIは $\Delta 0.6$ で前月と比べ横ばい。業種別に見てみると、卸売業が前月比+0.3ポイント、小売業では+0.2ポイント上昇。一方で建設業では-0.3ポイント、サービス業では-0.2ポイント下落している。製造業においては横ばいという結果であった。規模別に見ると、小規模事業者では前月比+1.1ポイント、それ以外の事業所では横ばいとなっている。

3. 採算

業種別



規模別



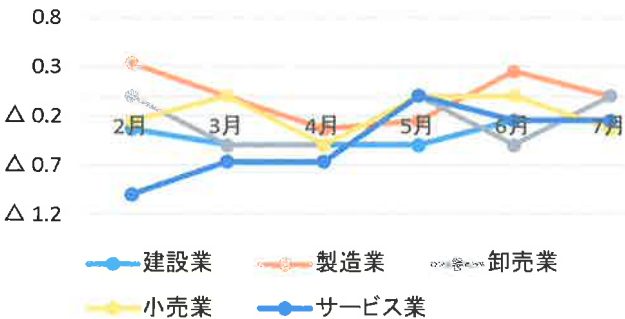
採算DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△0.1	△0.4	△0.5	△0.5	△0.7	△0.6
建設	0.0	0.0	△0.3	0.0	△0.3	△0.3
製造	0.0	△0.3	△0.7	△0.8	△1.0	△1.0
卸売	0.0	△0.8	△1.0	△0.3	△1.0	△0.7
小売	△0.3	0.0	0.5	△0.5	△0.3	0.0
サービス	△0.5	△0.7	△1.0	△1.0	△1.0	△0.8
小規模	△0.3	△0.4	△0.7	△0.8	△0.8	△0.6
それ以外	0.2	△0.3	△0.3	0.0	△0.5	△0.5

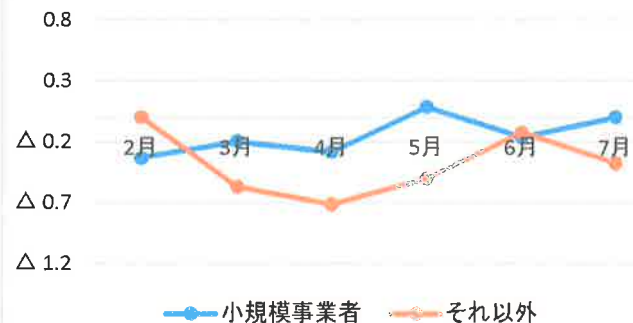
全産業の採算DIは△0.6で前月比+0.1ポイント上昇。
業種別にみると卸売業、小売業が前月比+0.3ポイント、サービス業が+0.2ポイント上昇している建設業、製造業では横ばいという結果。
規模別にみると、小規模事業者では前月比+0.2ポイント、それ以外では横ばいとなっている。

4. 仕入単価

業種別



規模別



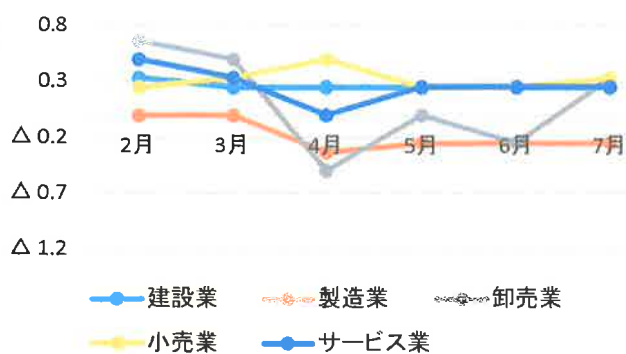
仕入単価DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△0.2	△0.4	△0.5	△0.2	△0.2	△0.2
建設	△0.3	△0.5	△0.5	△0.5	△0.3	△0.3
製造	0.3	0.0	△0.3	△0.3	0.3	0.0
卸売	0.0	△0.5	△0.5	0.0	△0.5	0.0
小売	△0.3	0.0	△0.5	0.0	0.0	△0.3
サービス	△1.0	△0.7	△0.7	0.0	△0.3	△0.3
小規模	△0.3	△0.2	△0.3	0.1	△0.2	0.0
それ以外	0.0	△0.6	△0.7	△0.5	△0.1	△0.4

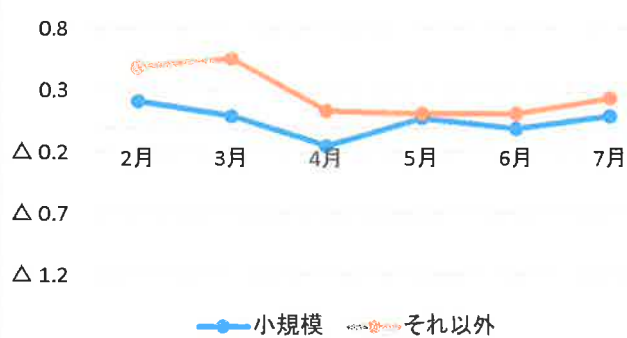
仕入単価の全産業DIは△0.2で前月と比べ横ばいであった。
業種別にみると、卸売業が前月比+0.5ポイント上昇している。一方で製造業、小売業が前月比-0.3ポイント下落となっている。建設業、サービス業では横ばいであった。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.2ポイント上昇、それ以外は-0.3ポイントの下落であった。

5. 従業員

業種別



規模別



従業員DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	0.3	0.3	0.0	0.1	0.1	0.2
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	0.0	0.0	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3
卸売	0.7	0.5	Δ 0.5	0.0	Δ 0.3	0.3
小売	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3
サービス	0.5	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3
小規模	0.2	0.1	Δ 0.1	0.1	0.0	0.1
それ以外	0.5	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3

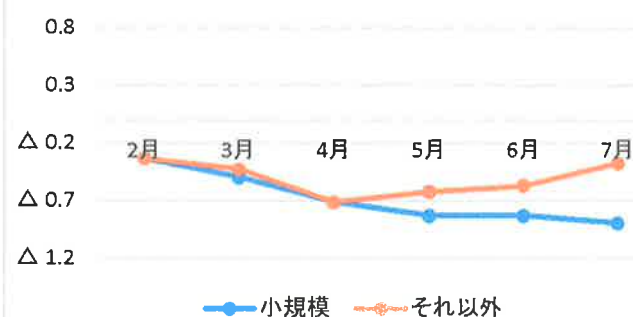
従業員の全産業DIは0.2で前月比+0.1ポイント上昇している。
業種別にみると、卸売業は前月比+0.6ポイント上昇、それ以外の業種については横ばいという結果であった。
規模別にみると、小規模事業者は前月比+0.1ポイント、それ以外では+0.2ポイント上昇している。

6. 業況

業種別



規模別



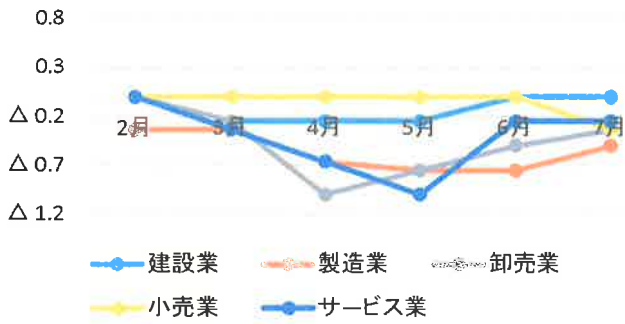
業況DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.7	Δ 0.8	Δ 0.7	Δ 0.7
建設	0.0	0.0	Δ 0.3	0.0	0.0	0.0
製造	Δ 0.3	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0
卸売	Δ 0.7	Δ 0.5	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0
小売	0.0	0.0	Δ 0.5	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 0.3
サービス	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0	Δ 1.0
小規模	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.7	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 0.9
それ以外	Δ 0.3	Δ 0.4	Δ 0.7	Δ 0.6	Δ 0.6	Δ 0.4

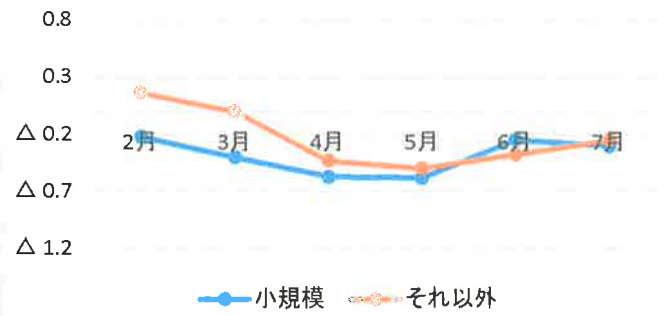
業況の全産業DIはΔ 0.7で横ばいであった。
業種別にみると、小売業が前月比+0.5ポイント上昇している。建設業、製造業、卸売業、サービス業においては横ばいであった。
規模別にみると、小規模事業者では前月比-0.1ポイント下落、それ以外では+0.2ポイント上昇となっている。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3
建設	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.5
卸売	0.0	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3
サービス	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.3
小規模	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3
それ以外	0.2	0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3

資金繰りの全産業合計DIは△0.3となっており、横ばい。
 業種別にみると、製造業では前月比+0.3ポイント、卸売業が+0.2ポイント上昇、小売業では-0.3ポイント下落している。建設業、サービス業は横ばい。
 規模別にみると、小規模事業者は横ばい、それ以外では+0.1ポイント上昇という結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営への影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①経営に影響が生じている	1	3	1	2	2	9
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	3	1	2	1	1	8
③影響はない						0
④分からない					1	1

1-2 2021年度の新卒採用活動について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①合同説明会が中止・延期になり、自社主催の会社説明会に切り替え				1		1
②合同説明会が中止・延期、Web上で自社主催の会社説明会に切り替え						0
③合同説明会が中止・延期、就職情報会社主催のWeb上の説明会で対応						0
④自社主催の説明会を予定していたが、Web上での説明会に切り替え実施		1				1
⑤選考スケジュールの後ろ倒しを実施						0
⑥影響はあるが、対応策は取れていない						0
⑦新卒採用に対する影響はない	2					2
⑧新卒採用自体を取りやめた		1			1	2
⑨そもそも新卒採用は行っていない	2	2	3	2	3	12
⑩その他						0

2.付帯調査【新型コロナウイルス拡大を契機とした働き方の見直しについて】

2-1 正社員の副業・兼業に関する状況について

	建	製	卸	小	サ	合計
①副業・兼業を積極的に推進している						0
②副業・兼業を容認している	1	1			2	4
③副業・兼業は認めていないが、現在検討している						0
④副業・兼業を認めていないが、将来的には検討したい			1	2	1	4
⑤副業・兼業を認めておらず、今後も検討する予定はない	2	2	1			5

2-2 他社の正社員を副業・兼業先として受け入れているかについて

	建	製	卸	小	サ	合計
①すでに受け入れている						0
②受け入れていないが、現在検討している					1	1
③受け入れていないが、将来的には検討したい	1	1			2	4
④受け入れておらず、今のところ検討する予定もない	2	2	2	2		8

2-3 2-1で③～⑤と回答したした場合 副業・兼業を認めていない理由について(複数回答)

	建	製	卸	小	サ	合計
①社員の長時間労働・過重労働につながりかねないため	3	1		2		6
②社員の総労働時間の把握・管理が困難なため	3		1	2		6
③情報漏洩リスクが懸念されるため		2	1			3
④本業(自社の業務)との競合が懸念されるため		1	1	1		3
⑤人材の流出が懸念されるため	1	1	1	1		4
⑥組織の一体感、統制力の弱体化が懸念されるため		1	1			2
⑦副業・兼業先で労働災害が起きた際に本業への支障が生じる恐れがあるため	1		1			2
⑧副業・兼業先で労働災害が起きた際に十分な補償がなされないことへのリスク管理のため	1		1			2
⑨その他				1		1

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、影響が生じている、経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念があるとの回答が約半々であった。2021年度の新卒採用活動については、そもそも新卒採用は行っていない事業所が6割以上、他には、新卒採用に対する影響はない、新卒採用自体を取りやめた等の回答であった。

新型コロナウイルス拡大を契機とした働き方の見直しに関する付帯調査では、正社員の副業・兼業を認めていないとの回答が7割近くあり、その理由としては、社員の長時間労働・過重労働につながりかねない、総労働時間の把握・管理が困難なため、また人材の流出が懸念されるためとの回答が多かった。他社の正社員を副業・兼業先として受け入れているかについては、受け入れておらず、今のところ検討する予定もないとの回答が最も多い結果となった。

コメントには、売り上げが回復していた中で、新型コロナウイルスが再び感染拡大となり今後の影響が不安である、また副業・兼業について、過去に無断で副業して従業員がおり、就業中の怠慢がみられたため当社には不適である、という声が寄せられた。